

総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	商工観光課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
2 - 1 - 3	自然と調和した美しい町を育てる
重点施策ID	重点施策名
- - -	【体系外】

2. 事業名等			
事業名	魅力的な観光景観づくり事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	観光施設管理事業	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市	①	①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務	④	④その他 ()
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 26 年度	根拠法規	豊後大野市神楽の里ふれあいセンター条例他
各種の計画への反映 (=根拠計画)	豊後大野市観光まちづくりビジョン		事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 近年観光のあり方が見直され、発地型・通過型観光から着地型・滞在型観光へと変わりつつある。そうした中、当市は神角寺芹川県立自然公園及び祖母傾国定公園、祖母傾県立自然公園内に位置し、豊かな農山村景観や農林産物、自然資源や歴史・文化資源など多様な資源を有している。着地型観光を推進する上で、これらの資源と既存観光施設の活用が望まれている。	補助事業	名称	九州自然遊歩道県委託金
		補助率	国 県 その他 1/ 10/ 10 1/
	起債の種類	① ② ③	

事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 農村景観、自然資源、歴史・文化資源や既存観光施設など、様々な観光資源の特色を生かしつつ保全の取り組みを行うことで、豊後大野市の観光基盤の強化を図る。	農村景観保全 用作公園保全、御嶽桜ロード保全や普光寺周辺保全運動及び魅力アップ事業 既存観光施設の見直しと維持管理
【対象】 観光施設利用者	前年度の評価 E 維持
	評価結果に基づき見直した内容 観光施設の多くは直営で管理しているが、21年度より井崎河川公園キャンプ場を指定管理とした。

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金	312	312	312	312	312	312	1,248
	地方債							
	その他		14,761	14,542	14,230	9,390	12,000	48,000
	一般財源	56,995	45,321	51,338	56,813	51,308	51,800	216,000
	計	57,307	60,394	66,192	71,355	61,010	64,112	265,248
決算	国庫支出金							
	県支出金	312	312	312	312			
	地方債							
	その他		12,126	8,414	11,184			
	一般財源	52,705	48,595	56,586	61,456			
	計	53,017	61,033	65,312	72,952			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 観光施設管理費 61,033千円	【実績】 観光施設管理費 65,312千円	【実績】 観光施設管理費 72,952千円	施設の老朽化に伴い、維持管理費が増加傾向にある。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	① 保全グループの育成数 ② 計画的な既存施設の整備率						
効率指標	-						
成果指標	利用者数						単位 千人
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別				利用者	利用者	利用者	
目標値				607	613	619	
実績値	659	638	607	598			
達成率				98.5%			
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	商工観光課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	行政財産の維持管理は行政の責務である。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	3	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	収益性の高い施設においては指定管理も可能であるが、その他施設は直営で管理することが必要である。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	観光施設の提議が定まっていないことから、管理のあり方については外部委託も含め、関係課及び各種団体と検討することが必要である。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	観光施設があることにより、地域への誘客により活性化が図られた面もあるが、大方は収益性が低く、直接誘客に繋がらないものが多数を占めているのが現状である。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	4	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	施設の老朽化に伴い、修繕費等維持管理費が増加傾向にある。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	2	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	嘱託職員については、リバーパーク犬飼に3名、三ノ岳なかよしパークに3名を配置し管理しているが、今後施設の見直しの中で減員を検討する。また、それ以外の施設の維持管理・清掃等は、団体や地域のグループ・個人に委託をしている。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	費用対効果の面から考えると、現状のままの維持管理は厳しいものがあるものの、廃止に当たっては、周辺地域の実情等を考慮しなければならない。また、引き続き直営又は指定管理に移行する施設にあっても、経費の節減、利用料の増額等により、収益性を高める必要がある。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
<p>現在ある観光施設は、旧町村時代に整備され、地域との繋がりも強く費用対効果の面だけで、廃止（譲渡や取り壊し）や指定管理への移行とはならない状況がある。</p> <p>しかし、今後の管理のあり方については、廃止や指定管理への移行と併せて、保全グループ等の育成や観光施設の有料化及び使用料の見直しをする中で、経費の節減を図る必要がある。</p> <p>そうした中、豊後大野市奥嶽川自然公園井崎河川公園キャンプ場の指定管理移行に向けた条例改正を行い、公募の結果、21年度より指定管理を行うことが決定した。</p>					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	